

武蔵工業会 御中

2007年7月24日
楷の木会 吉村 正伸

25日の緊急常務理事会のご案内をいただいておりますが、残念ながら楷の木会として出席できる者
がおりませんでしたので、大変失礼とは存じますが、文面にて校名問題に対する楷の木会の対応について
の意見を申し上げます。

先日お知らせ致しました通り、楷の木会理事の意見としては「校名変更反対」となりましたが、その後
の意見集約期間延長に伴い、当会においても環境情報学部卒業生に対して校名変更に関する告知を行い、
広く意見を求めてまいりました。

告知方法、意見集約については以下の通りです。

【楷の木会の校名変更に関する活動について】

1. 楷の木会総会

日時：2007年6月2日（土）

会長吉村より、校名変更の説明・意見集約、現役学生による活動紹介

2. ホームカミングデー（同窓会）

日時：2007年6月2日（土）

学長による校名変更に関する告知

3. 第1回、第2回の総会、ホームカミングデー開催時に集めたメールアドレスに意見募集の告知

意見集約

楷の木会では、環境情報学部卒業生から広く意見を求めるため、当会ホームページ上に意見投稿フォー
ムを作成し、6月2日～7月20日の期間で意見募集をいたしました。投稿フォームの設置については上記
3で述べたように、卒業生宛にメールにて告知を行いました。

投稿された意見を参考にし、改めて7月21日の理事会にて楷の木会の考え方を集約し、理事会での意
見を環境情報学部卒業生の代表意見としました。

【意見の要約】

- ・ 現段階での校名変更には賛成できない。
- ・ 現在の状況は教職員、学生、OB/OG に対して明らかに説明責任を果たしていない。育英会の改
名に対する経緯、考えなどをホームページ等で明示するだけでなく、説明会、意見交換などの直
接対面の場を複数回作って欲しい。
- ・ 中村学長の書面に「大学での統合をふまえ、さらに五島育英会傘下にあるすべての小学校、中学
校、高等学校の間の連携を一層強め、名実ともに一つの総合学園とする方向で関係者の意見の一
致をみている」とあるが、名実ともに一つの総合学園とするとは具体的にどういう目標を掲げて
いるのか。また、小学校や高等学校の関係者からの意見はどうなのか教えて頂きたい。

【以下、個別意見の抜粋】

- ・ 受験当時の私が着目したのは大学名ではなく学科、学べる内容についてなので、外面を変えるよりカリキュラム改革に注力された方が良いのではないかと。(2期生、女)
- ・ 社会で活躍する先輩方も多数いて、社会的にもムサコウの名前で通用している。(4期生、女)
- ・ 「武蔵工業大学から 大学に校名変更した」といって新しい大学のイメージを付けるよりは、「あの武蔵工業大学が変わった」というように、大学イメージはそのままに、内容の改革について着眼させるよう世間の興味を引く方が得策と考える。(5期生、女)
- ・ 新設統合されるのは人間科学部であり、文学部、経済学部、法学部などもないのにそれだけで総合大学と名乗るのは厳しいのではないかと。(5期生、男)
- ・ 都市大学といえればかなり都市交通、都市建築などのイメージがある。非常に狭い分野であると感じるため、逆効果になるように思う。(5期生、男)
- ・ 今回の統合は環境情報学部新設のケースに似ている。その際校名は変更しなかったが、環境情報学部ができてからの大学全体の経常収支、人気度、社会評価などを分析したのか。(大学院5期生、男)
- ・ 唐突に1つに絞りましたとされても、納得いかない。なぜ環境情報学部ができた時に変えなかったのか。(大学院5期生、男)
- ・ 校名をかえるだけことで「本学の課題」が解消されるとは思えない。(大学院5期生、男)
- ・ 武蔵工業大学附属高校出身で、今回大きな騒動になっている名称変更がなされたら高校の名前まで変わってしまう可能性がある事等も考えると無条件で腹立たしい。(6期生、男)
- ・ 新名称に変えた結果、学生が多く集まるという根拠について理解できない。(6期生、男)
- ・ 今回の件は大学側が一方的過ぎるのではないかと。(6期生、男)
- ・ 今まで社会での知名度は武蔵工業大学のほうが断然高いし、この知名度を利用して新しい学部の宣伝を行うことが何故いけないのか？(6期生、女)

[名称の代替案](1期生、男)

- ・ 武蔵工業総合大学
(総合を付けることで他分野の学問も学べそうな雰囲気をも同時に醸し出せると思うので)
- ・ 第二次武蔵工業大学
(時代の変化に伴い工学も常に進化していくという意味をも含む。また、他校に比し圧倒的なインパクトを誇るため)

【校名変更に関する権の木会としての今後の予定】

今後も意見集約の必要がある場合、投稿フォーム掲載を継続する。また、改めて卒業生に対してメールなどにて投稿フォームの告知を行い、意見募集を行う。

その結果としての工業会における校名変更の議事録などについてもホームページ上にて広報、工業会ホームページの記事へのリンクを行う。

以上